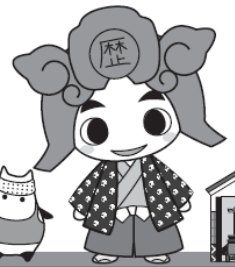




歴史まちづくり

ニュース

第13号



発行：名古屋市観光文化交流局歴史まちづくり推進室 Tel.052-972-2782

発行日：平成30年2月

伝統的建造物の修理を行っています(平成29年度伝建地区補助金対象工事)

平成29年度伝建地区補助金を活用して、現在、4棟の伝統的建造物の修理工事が進んでいます。工事の様子をご紹介します。

《服部家住宅塀修理工事》

東海道沿いにある服部良也家住宅と寿限無茶屋の間の塀の修理が行われています。

ジャッキアップをして土台を交換し、塀を水平に建て直しています



《竹田家住宅（笹加）土蔵及び塀修理工事》

土蔵（2棟）の漆喰塗替えと、茶室の前にある塀の修理が行われています。

土蔵



壁・梁などの漆喰をはがし、塗り直します



屋根・壁
取り外し



傷んでいる部材の交換・根継ぎを行います



補助金（伝建地区補助金・町並み保存地区補助金）を検討されている方はお早目にご相談ください(平成31年度補助金の申込締切は平成30年3月末です)

平成31年度に補助金を活用した修理・修景工事をお考えの方は、歴まち室にご相談のうえ、**平成30年3月末まで**に申し込みを行ってください。

補助金を活用して修理・修景工事をされる場合、相談をいただいてから工事着手するまでに時間を要しますので、お早目にご相談ください。

第40回全国町並みゼミ名古屋有松大会が開催されました

第40回全国町並みゼミ名古屋有松大会が平成29年11月17日～19日に開催され、全国から約400名の方にご参加いただきました。

《1日目 全体会》

1日目には、東海旅客鉄道株式会社相談役・須田寛氏から「日本の観光 きのう・いま・あす」と題して、観光とまちづくりについて講演いただきました。また、有松をはじめ、各地区からまちづくり活動についての報告がありました。(会場：名古屋国際会議場)

- ・観光は、文化活動であると同時に経済活動である。
- ・観光するところをもって身の周りを見つめ直し、まちに誇りとおもてなしの心をもつことが観光まちづくりにつながる。



東海旅客鉄道株式会社
相談役 須田 寛氏

《2日目 分科会》

2日目には、市内7つの会場で町並み見学と討議が熱心に行われました。有松では3つの分科会が行われ、200名を超える方が参加されました。



第1分科会 「これからの町並み保存～守る×活かす×育てる×創る×繋ぐ～」

第1回全国町並みゼミ開催からの40年を振り返りつつ、現在の有松における課題をふまえ、今後の町並み保存のあり方について、討議が行われました。(会場：有松・鳴海絞会館)



第2分科会 「伝統産業の継承と町並み」

地域活性化資源として有松絞りなどの伝統産業に焦点をあて、伝統産業を活かした持続可能な町並み保存の仕組みについて、討議が行われました。(会場：竹田家住宅・土蔵)



第3分科会 「町並みと山車・まつり」

「まつり」及び「まつりの舞台」としての歴史的町並みの必要性や大切さを共有し、町並みとまつりの継承・発展について、討議が行われました。(会場：祇園寺)

《3日目 全体会》

3日目には、前日までの討議を踏まえ、名古屋有松大会の大会宣言が採択され、次回開催地の長野県松代へ大会旗が引き継がれました。(会場：名古屋市青少年文化センター)

それぞれの立場から、歴史的な建物や町並みの保存・再生に主体的に関わり、「町並みはわたしが守る」取り組みを強力に進める



大会宣言



大会旗の引き継ぎ

伝建地区・町並み保存地区に関するご意見やご質問は、歴史まちづくり推進室にお寄せください

名古屋市 観光文化交流局 歴史まちづくり推進室

TEL：052-972-2782 FAX：052-972-4128 E-mail：a2782@kankobunkakoryu.city.nagoya.lg.jp